

令和8年度 評価計画及び自己評価

(計画・**中間**・最終) 両城中学校区 校番 19 学校名 呉市立両城小学校

a 学校教育目標	①「心豊かに、自立する」	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) 呉に学び、自分を磨き、未来を創る児童を育成するため、地域 や保護者との協働のもと、時代に必要な資質・能力を育成する 教育に貢献する。 〈ビジョン〉(将来の学校像) 教職員が力を合わせ、児童の力を伸ばし、共に高まる活力ある 学校を目指す。
----------	--------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏 まえた現状(進捗状 況)と今年度の重点	中学校区で二川授業スタイルを実践し、学力向上を図ってきたが、学力に個人差があり、思考力・表現力においても課題がある。また、学校行事や縦割り班活動の取組を通して自尊感情の向上を図っているが、自尊感情が低い児童が一定数いる。生きる力の向上については、体と心の両面での健康への取組が続けているところである。今年度は、誰もが分かりやすい取組となるように、特別支援教育の視点を明確にし、教職員だけでなく、児童自身も何をどのように取り組んでいくのかを意識できるようにし、学力向上や自尊感情の向上、生きる力の向上を目指す。
--------------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	○知識・技能 ○思考力・判断力・表現力 ○主体性
-------------	--------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1 ②・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標 値	上半期			下半期		
						i 達成 値	j 達成 度	k 評価	i 達成 値	j 達成 度	k 評価
*** 確 かな 学 力 の 向 上 (教務部)	① 学 力 の 向 上	基礎・基本の 徹底	・特別支援教育の視点を大切にし、 個に応じた指導の工夫 ・スキルタイム等を活用した読解力、 語彙力、計算力等、基礎・基本的な 力の定着 ・ICTの効果的な活用 (情報活用能力の育成)	国語科・算数科の単元 テスト60%未満の児童 の割合 タブレット端末を活用す るのは勉強に役立つと 考える児童の割合	10% 未満 96	5.8 4.8	104 105	A A			
		思考力・判断力・ 表現力の向上	「二川授業スタイル」を基盤とする授 業づくり ・ノートに自分の考えを書かせて伝 え合う場を設定し、考えを深めさせる	国語科・算数科の単元 テスト思考力・判断力・ 表現力の平均点	80	87.3 80.8	109 101	A A			
** 豊 かな 心 の 育 成 (生徒指導部)	① 自 尊 感 情 の 向 上	自他を大切にし認 め合う児童の育 成 【いじめの防止】	・縦割り活動を行い、発達段階に応 じた自分の役割をもたせ、互いの良 さを認め合える場を設定 ・児童が主体となっていじめ撲滅に 向けた取組を行い、自他を大切にし ようとする心を育成	自分にはよいところがあると思っ ている児童の割合 いじめは、どんな理由があつてもい けないことだと思ふ児童の割合	85 100	87 98	102 98	A B			
		主体的に行動で きる児童の育成	・学校行事や縦割り活動に、より主 体的に取り組めるよう、明確にめあ てをもたせた活動 ・キャリアログや二川活動振り返り カードの活用と評価	将来の夢や目標をもっ ている児童の割合	90	93	103	A			
* 健 や かな 体 の 育 成 (保体部)	① 生 き る 力 の 向 上	体力の向上	・児童が主体的に運動に取り組める よう体力安全委員会による積極的な 場の設定をする。(持久走、なわと び、くれチャレンジマッチ等) ・全学級、朝の会で柔軟体操を継続 する ・児童への保健指導及び食育指導	体育(運動)が好きな児 童の割合 生活習慣調査におい て、週5日以上望ましい 生活習慣(早寝・早起 き・朝ご飯・メディア)が できた児童の割合	95 90	92 92	97 102	B A			
		自分の命は自分で 守る力の育成	・防災参観日、地域合同防災訓練を 実施し、地域や保護者と共に考える 場を設定し、防災への意識を高める ・「土砂災害対応携帯マニュアル」 「地震津波災害対応携帯マニュアル」 を活用する ・防災ノートを活用し、振り返りを充 実させる	自分が住む地域に起こり やすい災害について理解 している児童の割合 災害時に避難する場所 や避難の仕方について 理解している児童の割合	100 100	100 100	100 100	A A			

業務改善	意欲と能力を発揮で きる教育環境の整備	働く意欲(働きたい)の 向上	・授業技術を高める校内研修の充実 ・3部会(分掌)間での業務分担の適 正化と協働による円滑な校務運営 ・3部会(分掌)での自主的運営の重視	日々の業務の中で充実 感を得られている教員 の割合	100	80	80	B			
		長時間勤務の削減	・日程や時程の工夫 ・退校時刻を意識する風土の継続 ・校務のICT活用 ・見通しをもたせることによるタイム マネジメント	時間外勤務が月45時 間以内の教諭等の割 合	100	73	73	C			

【k:評価】
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60